

令和7年度 第2回三重県文化財保護審議会 議事録

日時：令和8年1月27日（火）13：30～15：30

場所：三重県庁 7階 教育委員室

出席者

委員：【会場】岡野・富島・大河内・高橋・小澤・道林 6名
【オンライン】谷口・門脇・永島・板井・小早川・前迫・浅野 7名
【欠席】森・岡田・川崎 3名
事務局：坂井次長・松本課長・伊藤副参事・課員
傍聴：0名
取材：0社

1 審議会の公開について

附属機関等の会議は、「三重県情報公開条例第27条」により原則公開だが、今回の会議のうち、「審議」は、同条第5号の審議検討情報を含む「非開示情報」が含まれることから、「報告」は公開、「審議」「答申」は非公開とする事務局提案について委員了承。

2 審議会成立の確認と報告

委員数16名の過半数の委員、13名が出席し、会が成立することを報告した。

3 報告【公開】（事実確認の質疑は省略）

① 国・県指定文化財の現状変更等について

富島：旧諸戸家住宅の毀損届について、どのようなガラス戸が割れたのか。
事務局：建築当初のものではなく後補のもの。今回は来苑者による過失であり、所有者が見学時の注意喚起を行った。

小澤：オオダイガハラサンショウウオの現状変更申請について3段で記載しており1か所のみ地点を記しているが、それぞれ現状変更の地点が異なるのか。
事務局：現状変更の地点の違いで、3段に書き分けている。事業内容は同じ工事のもの。

永島：①国による買取りの「御野国加毛郡半布里大宝二年戸籍断簡」の現在の所在・管理場所、②白井家文書の現在の管理場所等はどうなっているか。
事務局：①文化庁から一方的に通知が来たため、現在の保管場所情報等は共有されておらず不明、②伊賀市文化財課歴史資料系の資料室で保管している。

浅野：志摩市の国登録有形文化財（建造物）が増えてありがたいと思う。今後活用するにあたり、旧向井家住宅はハザードマップで直前まで5m級の津波がくるエリアであるため、活用の際はサイン表示や避難訓練など安全面にも配慮を。
事務局：志摩市と情報を共有する。

前迫：和具大島暖地性砂防植物群落の現状変更の詳細について。
事務局：アカウミガメの産卵状況を確認するため、植物が生えていない地点を選定して、砂浜を掘っている。2箇所産卵状況を確認したと報告を受けている。

② 多度大社の上げ馬神事について

意見なし

③ 霊山山頂遺跡の仏像盗難被害について

大河内：和歌山県でも文化財の盗難被害が続出している。発生後、迅速に市町への情報共有していただきありがたい。全国的に自治体の域を超えて、被害が多数確認されている。今後、重ねて被害の発生がないように、未指定のものも含めて状況把握や、防犯対策・治安維持のため情報発信を進めてほしい。今回の件は報道ベースで第一報が入ったため、そういう意味では良い事例といえる。盗難被害品は古美術商を通じて流通するため、古美術商へ情報共有等を行うと被害品の流出を阻止することができる。

事務局：県内文化財担当者会議のほか、県内の文化財所有者を対象とした文化財講習会でも講習、注意喚起を行った。

4 審議【非公開】

令和7年度第1回三重県文化財保護審議会で諮問した有形文化財4件、有形民俗文化財1件について、委員による審議の結果、5件すべてが県指定文化財に指定可能と判断された。

5 答申【非公開】

三重県文化財保護審議会から新指定文化財5件が答申された。

事務局：令和8年度第1回は、令和8年夏頃開催予定。